

活動紹介

交流会名物 「そうめん流し」



ボランティアの重光先生が山から切ってこられた竹を組み、本格的なそうめん流しを体験させていただきました。そうめんのほかに、トマトやチーズやゼリーなど変り種が流れてきます。みんなお腹いっぱい！楽しかったね。

土曜開所

- 4月 お花見
- 5月 太陽公園(姫路)
- 6月 調理実習



7月 カブトガニ博物館(笠岡)

8月 ドラえもん科学未来展

交流会

年に一度、同泉学園の「デイセンターなすな」の皆さんと交流会を行っています。今年は7月30日に行いました。「なすなvsちどり」のゲーム大会で盛り上がり、ちどりのみんなで、この日の為に練習を重ねた手話歌を披露しました。とても楽しい一日でした。なすなの皆さん、ありがとうございました。



クラブ活動



5月の土曜開所は姫路の「太陽公園」に行きました。そこは10年前、ちどりがボランティアの方々にもお手伝い頂き訪れた、思い出の場所だったそうです。

またクラブ活動では、今年度から、「アスレチック」や「スイミング」を取り入れ、内容も充実してきました。月に一度、みんなでおいしいものを食べて、楽しいものを見て、しっかり体を動かして、心も体もリフレッシュ！



ちどり通信

第3号

ワークショップちどり
岡山市中区赤坂本町1-2
TEL (086) 271-2075
Fax (086) 237-2647

「ちどりの一日」

朝9時、石原さんの「おはようございます」の挨拶で、ちどりの一日は始まりです。ちどりでは、毎日の朝終礼の司会、作業前の机拭き、食事休憩時のお茶の準備などを、二人のお当番さんで行っていきます。石原さんより今日の当番が発表されると、「どちらが朝終礼の司会する？」と話し合います。時にはジャンケンで決める場面も。出欠点呼が終わると、今日の予定と作業内容の確認をします。みなさん自分が何の作業をするのか真剣な表情です。そうです、ちどりは働く事業所なのです。

ちどりの作業は大きく「紙製品作り」「ドックフード商品の袋つめ」「弁当配達容器回収」の3つに分かれます。ちどりは作業班には分かれていません。手先の器用な方、数字に正確な方、元気な挨拶ができる方・みなさんの「得意を生かし、それぞれの作業を分担、協力して行いきます」。

一日の作業が終わると、「お疲れ様〜と言いつつ、みなさんの表情は、笑顔いっぱいなのです。」



ワークショップちどりの底流

ワークショップちどりは平成3年、特別支援学級〜当時は特殊学級〜で教鞭をとっておられた谷川増雄氏が退職後、自宅の横に一軒屋を新築、開設されたのがその始まりです。当時は地域の中に障害がある方の通える場所はまだまだなく、皆さんの「働きたい」という願いに応えようとする小規模作業所の一歩でした。ご家族や当事者、関係者の手による無認可の事業所作りがまさに全国で広がっていた時代でした。

ワークショップちどりを立ち上げられた谷川先生の思いは、単に働く場づくりに止まらず、当事者の生活やすさや繋がる地域をどうつくりたいか、児島湖の汚染問題等、環境に優しい地域をつくりたいといった社会運動としての歩みの中にその特徴があったと思います。ちどりが作業の中心に立っている牛乳パックの再生紙を使っている紙製品作りは、まさにその思いを具体化したものです。

又、数多くのボランティアの方や愛育委員さんを始めたとした地域の方と共に、歩んできたのもちどりの特徴でした。当初からちどりはその運営が様々な地域の方の参加の下に委ねられてきました。市内の無認可の作業所組織の発足や小規模作業所作品展示会等がスタートし、障がい者の啓発活動の一助となっていくことも、ちどりの歩みの果たした役割は大きかったように思います。

今日もちどりは笑顔に溢れ、笑い声に包まれています。ちどりが大好きな皆さんの姿がそこにあります。工賃アップに向けた取り組みも生活の質に繋がるものとして着実に進んできています。障害がある方の暮らしが人の輪の中でより豊かなものに、地球環境がより優しいものに、昨年の大震災や風水害の中で改めて問われた人の繋がりが社会に根付くように、そうした願いや思いが脈々と流れていることをちどりの歴史と皆さんの日々を感じる今です。

地域活動報告

- 3/4 旭中学校にて紙すき体験「ボランティア祭り」(岡山ふれあいセンター)
- 5/17 21 市役所作品展
- 6/17 旭東地区地域と防災のまちづくりフェスタ
- 7/21 医療福祉専門学校バザー
- 8/3 曹源寺バザー
- 8/25 「紙すき講習会」(岡山ふれあいセンター)
- 9/8 ゆうあい福祉展(原尾島ハピータウン)

新人職員紹介

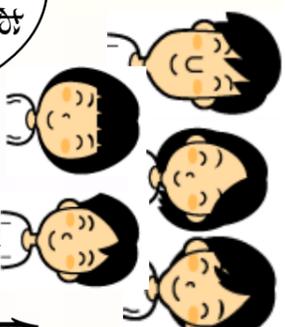


7月からお世話になっていきます。能登谷 美里と申します。毎日ちどりへ来るのが楽しみです。これからも頑張りますので、よろしく願います。

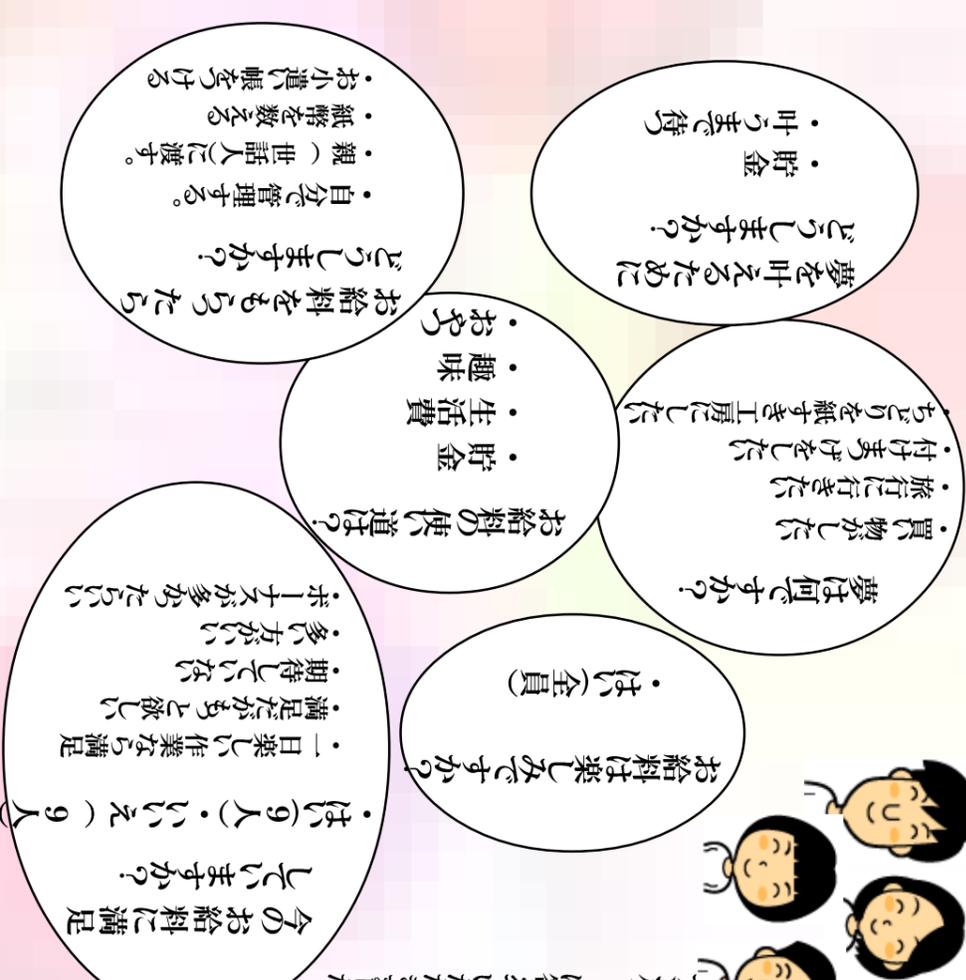
編集後記

ちどり通信作成も今回で3度目となり、少しずつですが楽しんでいけるようになりました。ちどりで働くみなさんの笑顔や日々の頑張りが、紙面を通じて少しでもお伝えできればと思っています。 徳永

働くことでどんなこと？



こちらの皆さんは「お給料について」アンケートに答えていただきました。



皆さんが一生懸命働いて得た工資が、お給料になります。毎月のお給料日を楽しみに頑張っていますが、ちどりに通うための交通費や食代からお給料を上回ることも、現実としてあります。

なぜ働くのか？何のために働くのか？様々な生活環境の中で、持ち答えはそれぞれ違々と思いますが、自分力で欲しいものを買う喜び、行きた場所に行く楽しみ、そして人との繋がり、社会との繋がり。働くことが、皆さんの夢に繋がる様に...

地域に根ざして

ちどり紙すき講習会

(岡山ふれあいセンターにて)



岡山ふれあいセンターでは、安全・安心・ホトアツクくり「地域人づくり講座」を行うことで、各種団体やグループの方々が幅広く連携、防犯・環境美化・地域福祉づくり等の地域の問題解決に向けた取り組みを行っております。その一つの地域福祉分野「福祉作業所」で、なんと「ちどり」の地域福祉講習会を開催しました。あいちセンター、紙漉き講習会に来て。ちどり開所時から利用されている石原さんが「ちどりの仲間はお互いを補い合って毎日頑張っています」「土曜開所、旅行、クラブ活動と、働くだけでなくレクリエーションも楽しんでいます。「と話ししてくださいました。また、紙漉きを担当している大河内さんも紙漉きの工程をホトアツクの方へホトを持って説明していただき、日頃の活動が発表でき長い経験の場となりました。

参加してくださった方々も、牛乳パックから世界に一つしかない紙が生まれてきたと感動の言葉を寄せて下さいました。

「防災と福祉のまちづくりフェスタ」に出展しました。6月日、地域の「ふれあい館」で「防災と福祉のまちづくりフェスタ」がありました。今年で2年目の参加です。民生委員等、皆さんにお世話になりました。ちどりの商品(紙製品名刺当)を手に取っていただくことで地域へのつながりを大切にできればと思います。

工資アツクへ向けて

ちどりでは発足以来、利用して頂く当事者の方々の給与(工資)の確保、より多くの支援に向けた努力を重ねてまいりました。自立支援法に移行してからも工資アツク年計画、今年度からの3年計画とより具体的に、より確かなものにアツク化する中で「1円でも多くを、利用者支援する私にも共に頑張る日々です。ちどりの給与の源泉はやはり牛乳パックのリースによる手漉き和紙です。以下、和紙の製品化、販売の強化に今力を入れている取り組みをご紹介します。皆さん一層ご協力をお願いします。

手漉き和紙の新商品の取り組み

従来有名刺やはがきに加えここ数年は一筆箋やカレンダーといった新しい製品作りにチャレンジしています。カレンダーは利用者から絵手紙の講座の時間に描いた絵を各月の壁に載せています。壁掛け用に加えて卓上用も作成、工夫を重ね、ちどりの手作りカレンダーになっています。一筆箋は和紙のぬくもりが伝わる心を込めたタタシに相應に製皿です。最近では押し花をアレンジした素敵な感謝状や賞状も好評です。

ぜひ、ちどりと和紙の新たなチャレンジにふれてみてください。

サグザグ出店、県セルブの参加

岡山県セルブ協働障害がある方々の就労系福祉事業所の団体では県内各事業所が取り組んでいる授産製品を県内の「サグザグ」で連携してお店に置かせて頂くことになりました。厳選された陳列商品の中にちどりのはがき、タタシ紙、タタシカレンダー、一筆箋などが並んでいます。

福祉の世界を身近にしてこられた方々ばかりではなく、多くの一般市民の方々にどの商品を手にとっていただく機会になるのではと期待しております。

絵手紙用無地はがきとして

ちどりの無地はがきは自然な肌触りと適度な厚みがあり絵手紙用に適している絵手紙講座でホトアツク頂いている先生からお言葉を頂き、各公民館活動で取り組まれている絵手紙講座のはがきとして販売してみようということになりました。公民館を尋ねさせて頂き、具体的に利用のお話を頂いているものもあります。

個人でも団体でも結構です。是非、相談、ご利用下さい。お待ちしております。

泉学園がホームページを開設しました。

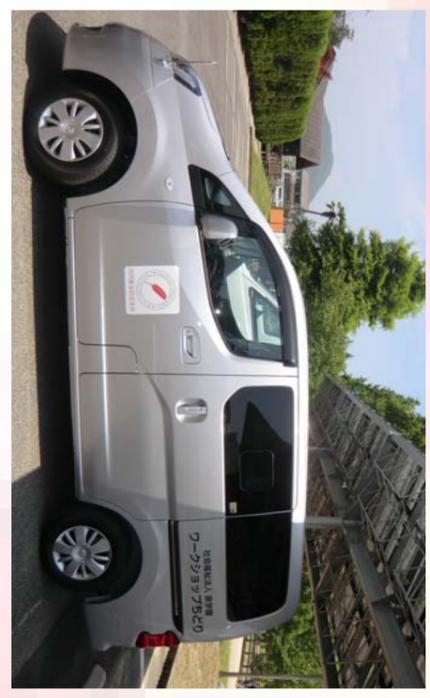
<http://izumigakuen.jp/>

泉学園各事業所の紹介や活動報告など、楽しい内容です。是非、ご覧ください。



エコキヤップを集めて東山中学校へ。ペトホルのキヤップが、ポリオクチンに変わるを皆さんはご存知ですか？キヤップ80個、一人分のクチンになるそうです。気の遠くなるような数字ですが、毎日何気なく捨てているキヤップも、集まれば誰かの命を助けることができます。東山中学校ホトアツク部皆さんは、アツクの子供達にポリオクチンを送る活動をされているそうです。

祝 ちどり初の公用車



赤羽根共同募金様より助成いただき、公用車を購入することができました。弁当配達やちどり製品納品などの作業、土曜開所やクラブ活動などの活動に使わせていただいています。本当にありがとうございます。

今年も「ちどり特性カレンダー」を作成中です。10月中完成予定です。是非ご注文下さい。お待ちしております。お待ちしております。

